

介護保険事業計画推進会議(第1回)	
R3.11.2	資料4

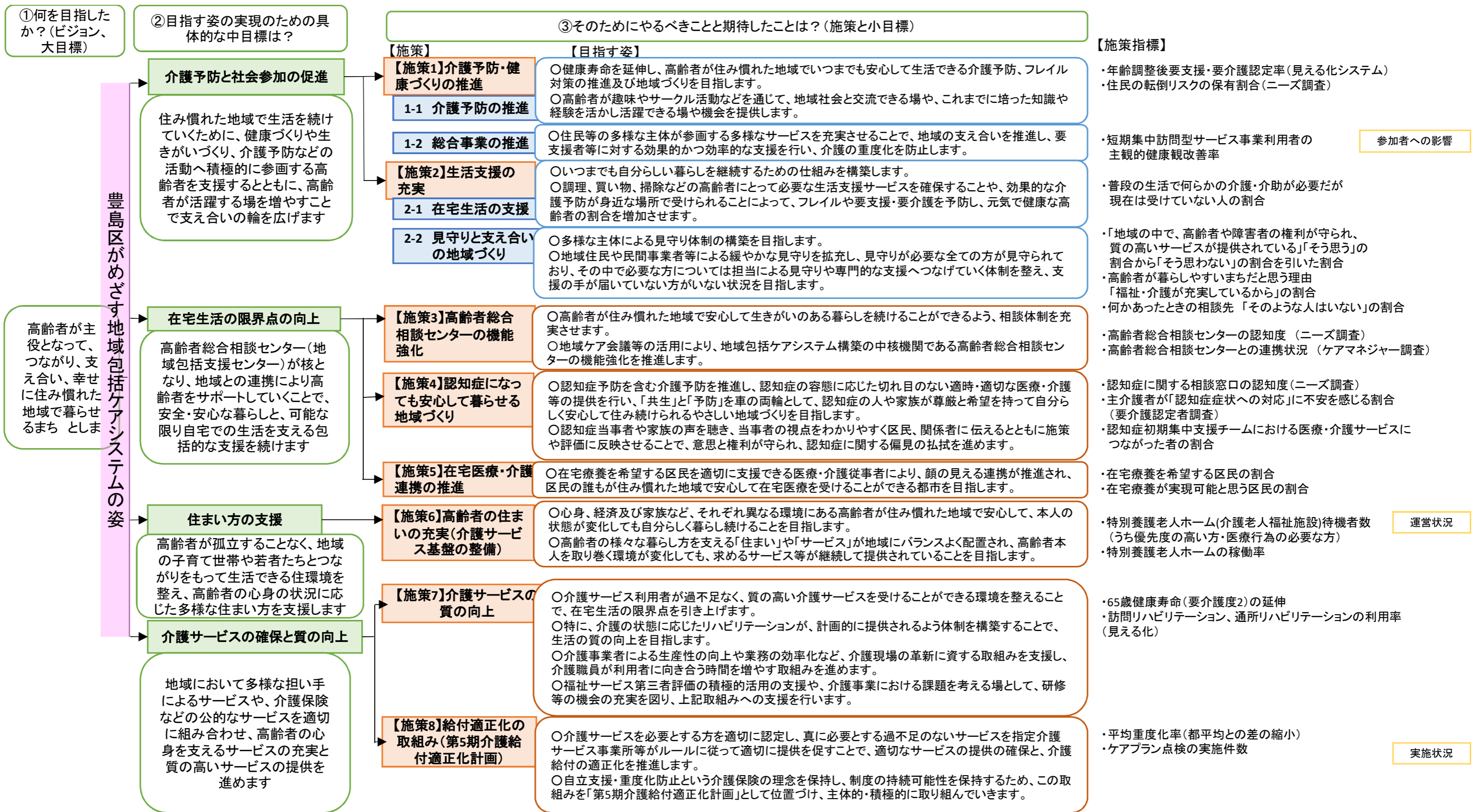
豊島区高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画の 進捗管理について

【指標作成にあたって】

- 取組の確認を、事業の実施体制や実施回数、実施人数(ストラクチャー・プロセス指標)及び実施効果(アウトカム指標)の両観点から確認
- また、介護予防等の取組の効果として、各取組の「参加者への影響」、これが面的に広がることで実現される「地域への影響」に分けて把握し、考察することが必要。

指標	概要	例	留意点
ストラクチャー指標	実施体制を測る数値	拠点数・従事者数(職種別)等	
プロセス指標	実施過程を表した数値	取組の回数や頻度・規模等	
アウトカム指標	取組の実施により期待される効果・成果を表した数値	元気な高齢者の人数・割合等	取組以外の要因も関係・影響して達成する・しないが決まることも多いことに留意することが必要。

出所:介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)、
介護予防等の「取組と目標」設定の手引き～介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の活用～(令和元年10月厚生労働省老健局介護保険計画課)、
介護保険事業(支援)計画の策定に向けた「取組と目標」の的確な評価方法に関する調査研究事業(令和2(2020)年3月株式会社三菱総合研究所)



施策

④事業の進捗状況を何で確認し評価するか(調査)?

施策		事業指標	施策の展開状況(整備状況、利用状況、運営状況)	アウトカム指標	参加者への影響	地域への影響	調査名	
【施策1】 介護予防・健康づくりの推進	1-1 介護予防の推進	(1)フレイル対策の推進	・フレイルについての認知度 ・フレイルチェック実施者数(しっかり+かんたんコース)	○	○	○	ニーズ調査	
		(2)高齢者の社会参加と住民主体の通いの場の拡大	・住民主体の通いの場の受け入れ人数	○			介護予防・日常生活支援総合事業及び生活支援体制整備事業の実施状況調査	
			・高齢者のうち、外出頻度が週1回以下の方の割合	○	○	○	ニーズ調査	
			・各専門職(リハビリ専門職、管理栄養士、保健師、看護師)の関与	○				
		(3)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	・重症化予防個別相談実施者数(糖尿病、低栄養、口腔機能低下) ・アウトリーチ講習会実施回数	○ ○				
	1-2 総合事業の推進	(1)訪問型・通所型サービスの実施	・デイサービスにおけるとしまリハビリ通所サービス利用者の割合 ・つながるサロン登録団体数	○ ○				
		(2)総合事業基準緩和サービス従事者育成研修	・育成研修の修了者数 ・修了者の介護事業所等への就労率	○ ○	○	○		
		(3)基本チェックリストの実施促進	・基本チェックリスト年間実施件数	○				
	【施策2】 生活支援の充実	2-1 在宅生活の支援	(1)支え合いの仕組みづくり	・地域のささえあいの仕組みづくり協議会の実施回数(累計) ・地域資源情報の把握数	○ ○			
			(2)日常生活支援サービスの充実	・紙おむつ等支給事業延支給者数	○			
・おむつ購入費等助成事業延助成者数				○				
・配食サービス利用者数				○				
・救急通報システム利用設置数				○				
・出張理美容費助成事業利用回数				○				
・寝具類洗濯乾燥事業総利用回数				○				
・補聴器購入費助成事業助成件数		○						
2-2 見守りと支え合いの地域づくり		(1)地域との協働 — 緩やかな見守り	・見守り協定等締結 団体数	○				
		(2)様々な主体による見守り活動の推進 — 担当による見守り	・見守り訪問対象者数	○				
		(3)見守り支援事業担当による活動 — 専門的な見守り	・見守り支援事業担当への相談件数 ・熱中症予防訪問人数	○ ○				
		(4)家族等による見守りの支援	・徘徊高齢者位置情報サービスの利用者数	○				
			・救急通報システム設置数(再掲)	○				
	【施策3】 高齢者総合相談センターの機能強化	(1)高齢者総合相談センターの相談支援の充実	・パンフレット、マグネット等の作成 ・地域ケア個別会議の実施	○ ○				
(2)ケアマネジャーの資質向上と育成支援		・研修回数(主任ケアマネジャー対象)	○					
		・研修回数(ケアマネジャー等対象)	○					
(3)地域ケア会議機能の推進		・地域ケア個別会議(事例検討数)	○					
		・地域ケア推進会議(開催回数) ・ケアマネジャーが高齢者総合相談センターと連携出来ているとする割合	○ ○	○	○	ケアマネジャー調査		
(4)介護予防活動の支援、介護予防ケアマネジメントの推進	・初回アセスメント 実施回数	○						
【施策4】 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり	(1)普及啓発・本人発信支援	・認知症サポーター養成者数(累積) ・高齢者総合相談センターにおける認知症相談件数	○ ○					
	(2)予防(認知症への「備え」として)	・高齢者の週1回以上のスポーツ実施率	○	○	○	ニーズ調査		
		・認知症予防プログラム事業 延べ参加者数	○					
	(3)医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	・認知症初期集中支援チームにおける支援相談人数	○					
		・認知症カフェ箇所数	○					
(4)認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	・チームオレンジの整備	○						
(5)高齢者の権利擁護	・成年後見制度 中核機関の整備	○						

施策

④事業の進捗状況を何で確認し評価するか(調査)?

施策	事業指標	施策の展開状況(整備状況、利用状況、運営状況)	アウトカム指標			調査名
			参加者への影響	地域への影響		
【施策5】 在宅医療・介護連携の推進	(1)医療・介護従事者を中心とした多職種連携の推進	・在宅医療連携推進会議交流会の開催	○			
		・在宅医療連携推進会議交流会の開催	○			
	(2)在宅医療・介護に関わるスタッフのスキルアップ	・在宅医療コーディネーター研修開催回数	○			
		・専門職向け研修開催回数	○			
	(3)在宅医療に理解のある区民を増やす	・区民公開講座開催回数	○			
		・在宅医療相談窓口コーディネート数	○			
【施策6】 高齢者の住まいの充実 (介護サービス基盤の整備)	(1)住み慣れた地域で安心して暮らすための多様な住まいの確保	・認知症高齢者グループホームの整備定員数	○			
		・介護付有料老人ホームの定員数	○			
	(2)在宅生活の継続を支えるための環境整備	・小規模多機能型居宅介護の拠点数(登録定員数)	○			
		・看護小規模多機能型居宅介護の拠点数(登録定員数)	○			
		・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の拠点数	○			
	(3)住まいやサービス施設の機能向上	※事業指標なし		-		
【施策7】 介護サービスの質の向上	(1)介護人材の確保・定着・育成に向けた支援	・費用助成の実施件数(初任者、実務者、介護福祉士の合計件数)	○			
		・「介護のお仕事パンフレット(仮称)」配布部数	○			
	(2)介護現場における業務の効率化に向けた取組み	・事業者検索システムのアクセス数(月平均)	○			
		・居宅介護支援及び地域密着型サービスを提供する事業所における「LIFE」等に対応した介護ソフトの導入割合	○	○	○	
	(3)介護サービス利用者の選択を支える取組み	・介護相談員訪問回数	○			
		・指定地域密着型サービス事業所における第三者評価受審割合	○	○	○	
【施策8】 給付適正化の取組み (第5期介護給付適正化計画)	(1)要介護認定の適正化	・合議体の平均重度変更率		○	○	
		・合議体の平均軽度変更率		○	○	
		・認定調査員現任研修参加率		○	○	
		・申請から認定までの日数	○	○	○	
	(2)ケアプラン点検	・ケアプラン点検の実施件数	○			
		・ケアプラン点検に関する説明会	○			
	(3)住宅改修等点検	・住宅改修・特定福祉用具購入申請時の点検件数	○			
		・住宅改修・特定福祉用具購入に関する現地調査件数	○			
	(4)縦覧点検・医療情報との突合	・医療情報との突合・縦覧点検件数	○			
	(5)給付費通知	・給付費通知の送付件数	○			
	(6)給付実績の活用・実地指導等	・ヒアリングシートの送付件数	○			
		・実地指導の実施件数	○			

取組と目標に対する自己評価シート(フェイスシート)						
施策	豊島区高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に記載した施策を記入					
事業の内容	施策の概要を計画記載の内容に基づき説明					
現状と課題						
現状	○施策の推進にあたり、把握している現状や課題、その背景など、計画に記した内容を記載。					
課題	<p>【記載事項の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査(各種アンケート調査や事業実施後アンケート等) ・事業者ヒアリング ・地域ケア会議等で把握した現状、解決すべき課題 ・地域が目指すサービス提供体制等の実現することが期待される理想的な状況との乖離 ・これらを生み出している要因や要因に関する仮説 等 					
目指す姿	計画に記載している目指す姿を記載					
施策指標						
	施策指標	現状	方向性	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)
	計画に記載している施策指標を記載					
第8期の具体的な取組						
	○上記の現状と課題をうけて、課題等を解決すべく、介護保険事業計画に記載した取組を踏まえながら、目標と具体的な取組内容を記載。					

評価指標							
○介護保険事業計画に記載した指標を含めた評価指標を設定し記載。 ○計画策定時には十分に吟味できなかった目標や評価指標についても、検討した上で							
事業の対象	対象の指標	○「対象」の大きさを示す指標。事業が「誰に」「何に」働きかけるのか、その対象の大きさを数値化して記載。 例)人口、65歳以上の区民数、要介護認定者数					
		実績					
事業の取組実績	活動指標	指標	単位	現状	R3年度	R4年度	R5年度
		目標					
		実績					
		目標					
事業目標の達成状況	成果指標	○活動指標は、「手段」の大きさ・規模を示す指標。目標と第8期の具体的な取組で記述した取組の具体的な活動量を示す指標を記載。					
		○成果指標は、「対象」に対する「目標」の達成度を示す指標を記載。					
		【目標として設定する数値の例】					
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施過程を表した数値(プロセス指標):取組の回数や頻度・規模等 ・取組の実施により期待される効果・成果を表した数値(アウトカム指標):元気な高齢者の人数や割合等 ・取組の投入量を表した数値(インプット指標):会議や研修の回数等 ・取組の実施によって直接発生した成果物・事業量を表した数値(アウトプット指標):会議や研修に参加した人数 ・「〇〇についての理解が進む」ことを測る指標(満足度指標) ・「〇〇について理解していると回答した区民の割合」等 					
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
目標の評価方法							
○自己評価は年2回実施するので、それを踏まえた目標や評価指標を設定。 ○目標の評価を、どのタイミングで、どのように実施するかを記載。							
変更経過							
変更内容		理由					
評価を行った結果、具体的な取組や数値目標を変更する場合、変更箇所とその理由を記載。							

取組と目標に対する自己評価シート

年度 豊島区高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に記載した施策を記入

前期(中間見直し)

●実施内容

- 取組と目標に関する具体的な実績を記載。
- 目標に掲げなかった実績でも、施策に影響を与える項目や参考となるものについては記載してもよい。

●自己評価結果【 】

- 4段階評価により、達成度を数値化。
 - ◎達成できた (80%以上)
 - 概ね達成できた (0～79%)
 - △達成はやや不十分 (30～59%)
 - ×達成できなかった (29%以下)
- 評価は、以下の項目を勘案したうえで実施
 - 1.目標に対する実施内容の達成状況
 - 2.現状と課題に対して設定した具体的な取組の適否
 - 3.現状と課題の改善状況
 - 4.実現することが期待される理想的な状況に向けた達成状況等に関する分析結果や評価、考察も記載した上で、達成度を自己評価。
- 取組の対象者・参加者に何らかの変化、改善が起きているのか、対象者・参加者に効果が出ているのかという観点からも評価を実施。

●課題と対応策

【課題】

○設定した数値目標の達成状況のみに着目するのではなく、実績を調査・分析した後に、課題と対応策を考察して記載し、明らかにすることで新たな取組につなげていく。

【対策(見直した対策など)】

- 以下の項目を踏まえた記載を行う
 - 1.目標が達成できなかった(あるいは達成できた)理由や原因に関すること
 - 2.目標の達成状況に影響している(と考えられる)他の取組や状況に関すること
 - 3.取組で目指している課題の解決や改善状況等に関すること

後期(実績評価)

●実施内容

●自己評価結果【 】

●課題と対応策

【課題】

【対策】

●「目指す姿」実現のための課題と対応策

- 目指す姿の実現に向けた課題と対応策を記載。
- 地域全体が改善しているかの観点からも評価を実施。

取組と目標に対する自己評価シート(フェイスシート)							
施策							
事業の内容							
現状と課題							
現状							
課題							
目指す姿							
施策指標							
施策指標			現状	方向性	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)
第8期の具体的な取組							

評価指標										
事業の対象	対象の指標	指標	単位	現状		R3年度	R4年度	R5年度		
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
事業の取組実績	活動指標	指標	単位	現状		R3年度	R4年度	R5年度		
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
事業目標の達成状況	成果指標	指標	単位	現状		R3年度	R4年度	R5年度		
					目標					
					実績					
					目標					
					実績					
					目標					
目標の評価方法										
変更経過										
変更内容					理由					

取組と目標に対する自己評価シート

年度

前期(中間見直し)

●実施内容

●自己評価結果【 】

●課題と対応策

【課題】

【対策(見直した対策など)】

後期(実績評価)

●実施内容

●自己評価結果【 】

●課題と対応策

【課題】

【対策】

●「目指す姿」実現のための課題と対応策